

素晴らしい伝統文化の国 日本

11月3日は「文化の日」です。日本の祝日「旗日」ですから皆さん、できれば日の丸・国旗を掲げてお祝いしましょう。この「文化の日」の文化とは当然ですが日本の文化です。それにふさわしい写真が撮影できないかと「きもの和」でネットで検索してみたら大当たりでした。

何と三井不動産が2日に「きもの・和・日本橋」というビック・イベントを開催しているというので、早速カメラ片手に日本橋界限、ついでに神田明神に出かけてきました。名誉ある更迭となった田母神氏も言ってます。「日本というのは古い歴史と優れた伝統を持つ素晴らしい国なのだ」と。前回に続いてスナップ集をお届けします。



一時は教会式に圧倒されていた日本の結婚式事情ですが、数年前から神前式が見直されはじめ、じりじりと追いつけています。この神田明神の場合、神前式を本殿で執り行いますので、参拝に訪れた人は誰でも見ることが出来るというのがほかにない特徴です。で、境内で参列者一同で記念撮影がこれ。一般の人からも祝福を受ける神前式、懐かしい木遣りの声も響く日本の原風景でしょう。



神田明神では獅子舞が七五三の子供が元気で育つようにと頭を「パクパク」してくれますが、望む人には気軽に記念撮影に応じてくれます。下町らしいサービスです。獅子が怖くて泣き出す子もたまにいますが「いい、怖くなからな、あの中には普通のお兄さんがいるだけだから…」と言いかす母親もいました。う～ん、バラして良いのだろうか？。



「きもの・和・日本橋」というイベントはどうやら日本橋地区の再開発を進める三井不動産が「和」をテーマに地域の活性化事業を行っていて、今回のイベントもその一環のようです。コレド日本橋ではきものの人に限ってお茶とお菓子のサービス、お琴の演奏もありました。ちなみに私は何も頂けませんでした(^_^)。



お待たせ致しました。本日のハイライトが日本銀行本店前での「日本橋きもの絵巻」大集合写真記念撮影会です。約

600人のきもの姿の参加者が一堂に会しての撮影会でしたが、こんな光景は生まれてはじめてみました。いや～、これだけきもの姿が勢揃いすると正に壮観ですね。でもこれを撮影するのに実は一時間も待たされてしまったのでした…。

カテゴリ: コラム フォルダ: 指定なし   

コメント(9)

タグ: きもの

コメント(9)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **花うさぎさん**

2008/11/03 08:43

「強い国」とは歴史の真実を堂々と明言できる国・さらば村山富市

>大阪地裁は、判決で「書籍に記載された自決命令自体まで認定することはちゅうちょを禁じ得ない」と述べ、昨日の大阪高裁判決も、「直接的な隊長命令」に限れば「真実性の証明があったとはいえない」としている。つまり、原審と控訴審ともに、両氏の自決命令があったと認定できていない。しかし、この二つの裁判所は、梅沢、赤松両氏を自決命令をした極悪非道の人物と書いてある「沖縄ノート」という本がこの先も販売を続けられて広く読まれることを容認している。論理が破綻しているのだ。

>「日本は侵略戦争を続けて悪いことをした悪い国であった。従って日本に軍隊をもたせてはならない。だから自衛隊は軍隊ではない」

この社会党的歴史観で部下に祖国を防衛させようと思っている指揮官こそ更迭に値する。何故なら、そもそもこの歴史観では祖国のために命を投げ出して戦えないからである。

西村慎吾の時事通信が更新されてました。さすがです。全文はこちらから。

<http://www.n-shingo.com/cgi-bin/msgboard/msgboard.cgi>



Commented by **さくらの ころさん**

2008/11/03 10:53

花うさぎさん、おはようございます。

>でもこれを撮影するのに実は一時間も待たされてしまったのでした…。

お疲れ様でした!でも、その甲斐あって良い写真が撮れましたね～～ いやぁ～実に圧巻です♪

お茶とお菓子目当てに、私もまぎれたかったなあ…^^)

今夏神社をたくさん巡りましたが、そこここで白無垢姿に遭遇できパチリと撮ってきました。



Commented by **花うさぎさん**

2008/11/03 12:25

To さくらの ころさん こんにちは。

>でも、その甲斐あって良い写真が撮れましたね～～ いやぁ～実に圧巻です♪

はじめは三時から撮影開始とあったので、それより20分ほどまえに行ったのですが、ついたら三時半からに変更、さらに次々と集まってくるのでまた延ばしということでした。一般マスコミも相当きていたので報道されていると思います(^^)。

>お茶とお菓子目当てに、私もまぎれたかったなあ…^^)

この他にも名所でのプロによる撮影とプリントプレゼント、抽選できものなど500万円相当が当たる抽選会などいろいろあったようです。

>今夏神社をたくさん巡りましたが、そこここで白無垢姿に遭遇できパチリと撮ってきました。

そうでしたか。私は白無垢というとテレビドラマ「北の国から」でほたるが結婚式場に雪の中をこの姿で歩くシーンを思い出します。21年間という長期間でしたが良い作品だと思いました(^^)。

Commented by **hoihoihoiさん**

2008/11/03 18:07



hanausagi様

2008/11/03 19:29

日銀前の写真は素晴らしいですね。日本の明るい未来を予感させます。産経新聞社写真報道部の方かと、一瞬思いました。大丈夫です、たとえ韓国の隣にあっても力強く伸びていく国です。七五三の写真はなんとも可愛い。この子どもたちがわが国に誇りを持って人生を楽しんで頂きたい。

ちなみに日の丸はペリーが1853年来航、「来年またくるぞ！」と脅しをかけて帰りまして、老中、阿部正弘(あべのまさひろ)が、それまで禁止していた大型船舶の製造禁止を廃止、大型船が作られまして、皆同じような形の船ですので、「日本国惣船印」として外国船と見間違わぬよう白地に日の丸を掲げよ、との通達から。

正式には明治3年(1870)正月27日、太政官布告第五十七号で国旗と定む、と書いてありました。この阿部正弘は若くして老中になり大奥でキャアキャア騒がれたイケメンだったのであります。



Commented by 花うさぎさん

2008/11/04 14:08

To hoihoihoiさん こんにちは。

> 日銀前の写真は素晴らしいですね。日本の明るい未来を予感させます。

ありがとうございます。よっぽど途中で諦めて帰ろうかと思ったのです。

>この子どもたちがわが国に誇りを持って人生を楽しんで頂きたい。

本当ですね。是非子供達には日本の歴史に自信を持って堂々と生きて欲しいと願わずにはいられません。

>日本国惣船印」として外国船と見間違わぬよう白地に日の丸を掲げよ、との通達から。
> 正式には明治3年(1870)正月27日、太政官布告第五十七号で国旗と定む、と書いてありました。

これは参考になる情報、ありがとうございました。私にとってはこの辺はまだまだ勉強しないとイケない部分です(^^)。



Commented by 八丁堀さん

こんにちは。

着物・ 若かった時は畳の部屋も同じで嫌でしたが、35.6歳過ぎになってから落ち着いてきたように思います。

幼少の頃にそういう部屋で育ったからかもしれません。

そう思うと、今の住宅事情で今の子供たちがどれだけ大人になってから日本の伝統文化というものをどう思うか？だと思います。

親の責任というのは大きいですね。



Commented by 花うさぎさん

2008/11/04 16:32

To 八丁堀さん

>着物・ 若かった時は畳の部屋も同じで嫌でしたが、35.6歳過ぎになってから落ち着いてきたように思います。

いまは若い方がおばあちゃんや母親のきもの、リサイクルのきものを着て出かけることが流行っているそうですよ(^^)。

>そう思うと、今の住宅事情で今の子供たちがどれだけ大人になってから日本の伝統文化というものをどう思うか？だと思います。

そうですね。でも近所のお祭りとか夜店見ていると、ゆかたは完全に定着していると思います。その辺から親しんでいけば何とかなりませんかね？。



Commented by 八丁堀さん

2008/11/04 18:48

To hanausagiさん

>いまは若い方がおばあちゃんや母親のきもの、リサイクルのきものを着て出かけることが流行っているそうですよ(^^)。

そうなんですか。

そういえば嫁も着物には興味あったかな?(笑)

>そうですね。でも近所のお祭りとか夜店見ていると、ゆかたは完全に定着していると思います。その辺から親しんでいけば何とかありませんかね？。

本当にそうかもしれないですね。

私の場合は建築関連の木材を扱う製造業なのでついそういう方面からみてしまいました。が、私の娘たちも夜店とかは必ずゆかたを着たいといいますね。

ありがとうございます。

また宜しく願います。



Commented by **花うさぎ** さん

西村幸祐さんのTBを拝見しましたが全く同感致します。

本日発売の週刊新潮はトップから四頁でこの問題の特集していますが、これを「いかにも粗雑な文だ」と否定しているのが秦郁彦元日大教授。

「たとえば張作霖爆殺事件は、関東軍の高級参謀・河本大作大佐によるものだったということが史実として確定しています」とか、「私の著書、慮溝橋事件の研究も論文には引用されていますが、そこで私は事件の首謀者＝中共説をはっきり否定しているのです」とか、論文そのものを全否定するコメントを寄せている。

申し訳ないが私はマスコミの人が持ち上げるほどこの人を信用しておらず、特に南京虐殺での中間説の説明を聞いているときにその想いを強くした。

今後のWILL、正論の特集に期待したい。